

[] : 修正箇所

今夏の電力需給見通しと節電へのご協力のお願い

当社は、原子力発電所の運転停止が継続する中、供給力確保のため最大限の努力を行っているところです。しかしながら、今夏は、昨年より皆さまにご協力いただきました節電の効果を見込んだとしても、供給力が不足し、電力需給はきわめて厳しい状況となることが予想されます。

このため、需給ひっ迫が予想される、7月2日(月)から9月7日(金)の平日（お盆期間 8/13 から 8/15 を除く）の9時から20時について、一昨年比▲10%程度以上の**使用最大電力**の節電をお願い申し上げます。

また、上記の期間・時間帯以外につきましても、お客様の生活や経済活動に支障のない範囲での節電に引き続きご協力をお願いいたします。

さらに、中部電力、北陸電力、中国電力の管内のお客様には、九州の需給安定に向けて、節電にご協力を賜ることとなり、誠に申し訳ありませんが、この夏の節電に格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当社は、今後も引き続き、電力の安定供給確保に向けて社員一丸となって取り組んでまいります。

お客様におかれましては、ご不便とご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんが、今夏におきましても、節電へのご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

解説

- このたびの当社からの節電のお願いは、「7月2日から9月7日の平日の9時から20時において、一昨年の使用最大電力から▲10%以上の節電」との国の要請内容にもとづくものです。
- お客様のご協力により、昨夏の最大電力は九州全体として一昨年比▲7%程度の節電を達成できましたので、その取り組みをぜひ今夏も継続していただいたうえで、さらに▲3%程度以上の節電を加え、九州全体として最大電力の▲10%程度以上の節電が必要となります。特に**気温が高く電力需要がピークに達する時間帯（九州では13時から17時）において、重点的な節電をお願いいたします。**
- 節電目標を「使用最大電力の一昨年比▲10%程度以上」としているのは、昨夏における節電の取り組み実績がお客様によって異なるため、公平性の観点から設定したものです。
- 個々のお客様の例では、昨夏すでに▲10%以上の節電を達成されたお客様は、ぜひその取り組みを今夏も継続していただき、また昨夏、九州平均の▲7%程度節電いただいたお客様は、さらに▲3%程度以上、昨夏▲5%のお客様は、さらに▲5%程度以上の節電へのご協力をお願いいたします。
- なお、病院や鉄道などのライフライン機能や国の安全保障上極めて重要な施設等については、政府から個別に節電目標が示されておりますので、それに沿った対応をお願いします。

今夏の電力需給見通しと節電へのご協力のお願い

当社は、原子力発電所の運転停止が継続する中、供給力確保のため最大限の努力を行っているところです。しかしながら、今夏は、昨年より皆さまにご協力いただきました節電の効果を見込んだとしても、供給力が不足し、電力需給はきわめて厳しい状況となることが予想されます。

このため、需給ひっ迫が予想される、7月2日(月曜日)から9月7日(金曜日)の平日(お盆期間8月13日から8月15日を除く)の9時から20時について、ピーク需要を一昨年の実績から▲10%程度以上抑制する必要があります。

そのためには、同期間の9時から20時については、「昨夏並み(▲7%節電実績)またはそれ以上」の可能な範囲での節電をお願いします。

このうち、ピーク時間帯の13時から17時については、さらに「▲3%程度以上(昨夏の節電実績▲7%程度を含めると、一昨年からは▲10%程度以上)」の節電にご協力をお願いいたします。

また、上記の期間・時間帯以外につきましても、お客さまの生活や経済活動に支障のない範囲での節電に引き続きご協力をお願いいたします。

さらに、中部電力、北陸電力、中国電力の管内のお客さまには、九州の需給安定に向けて、節電にご協力を賜ることとなり、誠に申し訳ありませんが、この夏の節電に格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当社は、今後も引き続き、電力の安定供給確保に向けて社員一丸となって取り組んでまいります。お客さまにおかれましては、ご不便とご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんが、今夏におきましても、節電へのご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。